

## 未永く付き合える「友だち」をつくろう!

### 『大人のための 友だちの作り方』

友だち作りという子供の頃や学生の頃を思い出してしまい、今さら友だちを作ることなどめったにないと考えがちになる。しかし、その頃でも雑誌の文通欄がきっかけで知り合ったペンパルやアマチュア無線仲間の友人の話を友だちはしていたはずだ。ならば、インターネットでも、世界中に顔を合わせたこともないけど友だちになれる人がたくさんいるだろう。そう思えるのなら、これからもっと友だちを作りたいの

なら、この本は役に立つ。かつてのフジテレビの名プロデューサーが交遊録や体験を通して、友だちの作り方を思い出させてくれるだろう。また、この本は友だちが重要な資源であることを気づかせてくれる。第1章の章題「二十世紀のキーワードは友だち」

にあるように、多くのビジネス書などにある人脈

とは異なる友だちという関係がもたらす情報の伝達の大切さや面白さがわかってくる。なるほど、WWWの個人ページなどを見ていても仲間に発信するような情報を持っている人ほど面白いページを作っているようだ。インターネットという強力な情報手段を使って友人を作るのは、とっても楽しいことなのかもしれない。



横澤彪著  
サンマーク出版発行  
本体1553円+税  
202頁  
ISBN4-7631-9166-7



# これからのコミュニケーションのかたち

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

## 情報にアピール力をつけるには...

### 『広告に私たちに 微笑みかける死体』

企業のWWWページ作成者と話をしたとき、もはやコンテンツは出版メディアと同じであると言われた。今や1人で記事を書いて、HTMLでレイアウトし、画像を貼りつけてコンテンツとして完成させるクオリティーではないのである。記事には編集が必要であるし、過剰なデザインを抑制する決断も必要になってくる。まさしく出版社の編集部と同じ機能を持つチームで作り上げられるものなのだそう。魅力あるページはプロの仕事によって作られるようだ。さて、この本は、ベネトンのカメラマンとして有名な著者の広告論である。彼の挑発的で目にした者に鮮烈な印象を残すベネトンのポスターを見たことはあるだろう。作品が

生み出されるまでの軋轢や、発表後の賛否両論の批評などを交えながら、彼が貫いてきた広告哲学が語られる。広告写真という手段でアピールす



オリビエーロ・トスカーニ著  
岡元麻理恵訳  
紀伊國屋書店発行  
本体1748円+税  
238頁  
ISBN4-314-00786-9

ることが、これほどアグレッシブであるとは認識していなかった。毒舌的な論評や、角ばった生き方には批判的な世論もあるが、本書ではそれが魅力的でもある。作成するWWWページにアピール力を持たせたいと考えているのなら、テクニックに走るだけでなく、熱く挑発的な作品を作り上げる人物や、その人のスピリッツを知ることも勉強になるであろう。

## 楽しい(!?) 未来の生活を垣間見る

### 『未来史閲覧 2』

産経新聞の平成8年1月から12月まで連載された「未来史閲覧」の後半を収録した本。連載前半は「未来史閲覧」として、すでに刊行されている。未来史閲覧は、先端技術のレポートを未来史として1シリーズを一週間で連載したものだ。この本には、健康、生活、技術革新、歴史、環境、番外の6つの章に分類された25シリーズが取り上げられている。各分野の最先端では今どのような研究がされているのかとどこまで結果が出ているのかという好奇心を満たしてくれる本で、百科事典を読んでいるときや、かつての少年誌や学習雑誌の巻頭グラビアページを読んでいるときのようなワクワクする気持ちにしてくれる。いろんな話題において、

パソコンやインターネットが出てくるのを見ると、これからの生活の中で情報を扱う道具やインフラがますます重要になっていくのがわかる。たとえば、「情報革命が憲法改正を迫る」シリーズでは、選挙や選挙活動とパソコン通信やインターネットの関わり合いを解説している。現在、ホームページは公職選挙法で利用制限がされる「文書画像」扱いで選挙運動には使えないそうだ。安価で選挙活動が行えるこの方法の見直しや、インターネットを使った議事録公開や、電子投票の可能性を探るなど、その興味は尽きない。



産経新聞社「未来史閲覧」取材班著  
産経新聞ニュースサービス発行  
扶桑社発売  
本体1456円+税  
571頁  
ISBN4-594-02178-6

## マルチメディアと科学・芸術の対話

### 『マルチメディア社会と変容する文化』

WWWをポーッと見ていて感じるのだが、かつては技術先行で仕組みはすごいが内容は薄いページも、徐々に芸術的な(とは言いすぎかもしれないが)要素を取り込んでいく。技術が確立していくと、芸術がその技術を表現の1つとして取り込んでいくようだ。その最先端を探るのに最適な場所ができた。それは東京初台にある新宿エリアで3番目に高い建物「東京オペラシティタワー」の4階に今年4月19日オープンした「NTTインターコミュニケーション・センター」



浅田彰監修  
NTTインターコミュニケーション・センター企画  
NTT出版発行  
本体2200円+税  
179頁  
ISBN4-87188-514-3

(ICC)」だ。ここは、「コミュニケーション」というテーマを軸に、科学技術と芸術文化の対話を促進し、豊かな未来社会を構想していくためのミュージアム(ICCパンフレットより)である。このICCの企画に加わっていた浅田彰氏が監修して、1996年秋に開かれたICC国際シンポジウム「マルチメディア社会と変容する文化 科学と芸術の対話に向けて」の記録をまとめたのが本書となる。シンポジウムでの資料やTV放送時にカットされた部分を収録して加筆修正がなされ、完成度の高い内容となっている。後半はシンポジウムからはなれて、科学、芸術のクリエイター15人のインタビューを収録する。



武井一巳著  
インプレス発行  
本体2136円+税  
252頁  
ISBN4-8443-4785-3

### パソ通もインターネットもやりたい人に

#### 『NIFTY Manager95で始めるNIFTY-Serve+インターネット』

日本の代表的パソコン通信NIFTY-Serveは、グラフィカルユーザーインターフェイス(GUI)を取り入れた専用アクセスソフトNIFTY Managerを無償配布し、初心者でもコマンドを使わずにパソコン通信を利用できるようにした。また、NIFTY-ServeのIDを持っていれば、ダイヤルアップPPP接続によってインターネットへのアクセスも行える。本書は、このパソコン通信とインターネットアクセスの2つを一挙に取り上げた入門書である。必要なソフトを収めたCD-ROMとNIFTY-Serveイントロパック(入会セット)が収められ、

Windows 95ユーザーなら、モデムかTAとこの本でパソコン通信、インターネットが始められるスターターキットになっている。画面ダンプを多用し、ステップバイステップで進んでいき、用語解説が随時必要な箇所に出てくるため、パソコン操作をしながら読み進んでいくにはちょうどよい。NIFTY-Serveやインターネットの魅力はどこにあるのかを最初に説明しているものの、かなりサラリと書かれているので、パソコンで通信を始めようかと悩んでいるのなら物足りないが、あとは一歩踏み出して始めるだけと決意した人には向いている本だ。モデムとこの本をプレゼントして、電子メールアドレスを持つ友人を増やすのも面白い。

## 各界の著名人が語るユニークなデジタル論

### 『電腦への提言』

コンピュータやインターネット、デジタル機器がもたらす未来に対する意見や提案、現在の自分との関わり合いを各界の有識者から集めた本。6人のインタビュー、61人の寄稿からなり、大学教授や作家、ミュージシャン、インターネットサービスプロバイダーとさまざまな業種の方からの意見がエッセイの形で掲載される。2~8ページほどのボリュームで多様な意見を目にする事が

できて楽しい。使えないパソコンの苦勞話あり、これからのインフラに期待する意見あり、飽きさせない。話の中身も、その道の有識者が語っているからおもしろい。写真家の田中長徳氏のデジタルカメラと職業写真家の話では、カメラ店とコンピュータショップの違いは「ついでにハッセルブラッドも置いてあるかどうかで区別する...」なんて、普段新宿のカメラでパソコン用品を購入する身では笑えない。また、稲増龍夫教授のエッセ

イでは、テレビゲームでの疑似体験を、読書を通しての疑似体験と比較していた。これを読んだら、ネットサーフィンをして情報を得る体験って図書館で本を探すことに通じるものがあると思ったことを思い出した。デジタル技術に対する思いを自分以外の人とくらべてみると楽しい。



大前研一他著  
アスキー出版局発行  
本体2500円+税  
543頁  
ISBN4-7561-1091-6



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)